



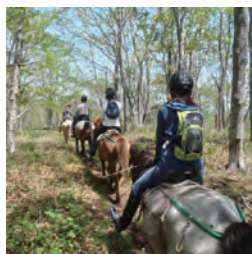
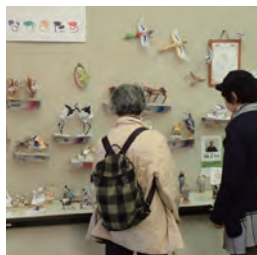
釧路湿原の
応援団



ワンダグリーンダ プロジェクト

2019

活動報告



ワンダグリンダプロジェクト

は、
釧路湿原に関わる参加の輪を広げていくための取り組みで、
環境省釧路自然環境事務所が事務局※となっており進めています。
地域で行われている様々な活動や人々を「釧路湿原の応援団」としてご紹介するとともに、
みなさんと連携した活動を行っています。

この冊子には2019年に行われた、釧路湿原を楽しむ、学び、守り、
将来に引き継いでいくための様々な取り組みを掲載しています。
参加登録いただいた団体や個人、再生普及行動計画オフィスと連携して
湿原を題材にした学習を行った学校の中から情報提供いただいた取り組みをご紹介します。



湿原に関わる様々な活動が行われていることを、多くの方々に知ってもらい、
釧路湿原と皆さんの距離が近づくきっかけになればと願っています。

※釧路湿原自然再生協議会再生普及行動計画オフィスとしてこの取り組みを進めています。

活動紹介

団体・個人の取組み

*個人情報を含むため、実施者の連絡先は掲載していません。事業内容についてのお問い合わせや実施者への連絡を希望される方は再生普及行動計画オフィス（連絡先裏面）までご連絡ください。

愛国幸恵町内会

釧路湿原や町内会周辺の四季折々の身近な写真と「ワンダグリンダ☆ニュース」を回覧し、
情報発信しました。写真は新釧路川に現れた
フロストフラワーです。



毎月1回、所属世帯261戸

イオン釧路店チアーズクラブ

イオン釧路昭和店チアーズクラブ

学習会を通して釧路湿原を学んでいます。

伊勢志郎

釧路湿原国立公園および丹頂鶴関連施設来園
記念の他、湿原周辺で開催された様々なイベ
ントに折鶴を提供しました。また「羽ばたく折
鶴教室」では多くの方々に羽ばたく鶴の折り
方をお伝えしました。



6/29 ●くしろエコ・フェア2019「はばたく折鶴教室」

アトリエ「アリス」

地域環境の中で植物観察（フィールドワーク）
を行い、生息する植物絵画作品として仕上げ
ています。また、出来上がった作品を公募展に
出品しています。

（一財）釧路 市民文化振興財団（釧路市生涯学習センター）

幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々へ学
習機会を提供するため、「まなぼとと市民学園
講座」を開設しています。その中で地域環境の
学習として「釧路湿原」をテーマにした講座を
開催しています。



- ▶7/12 ●いきいき女性講座 第5回目「キラコタン岬とコッ
タロ湿原展望台から釧路湿原を眺めよう」（参加：20名）
- ▶7/31 ●ライフアップ講座 湿原ホテル講座～釧路湿原の
夜の隠れた風物詩を探ろう～（熊出没情報により中止）
- ▶8/10 ●釧路学教養講座 第6回目「北斗遺跡と釧路湿原野
生生物保護センターの見学」（参加：26名）
- ▶8/22 ●シニア講座 第8回目「釧路湿原～絶滅危惧種と湿
原の草花～」（参加：27名）
- ▶8/30 ●いきいき女性講座 第8回目「ミズゴケ湿原の植物
の観察とふるさと情報館の見学」（参加：23名）
- ▶9/14 ●まなぼととわくわく体験隊 第8回目「森林と遊び
う2019」（参加：17名）
- ▶10/26 ●釧路学教養講座 第10回目・ライフアップ講座
「まもり保護の歴史と今後の展望」（参加：54名）

[HP] <http://www.kushiro-bunka.or.jp/manabo/>

NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会

北海道東部の鶴居村は、釧路湿原に囲まれた小さ
な村。タンチョウ観察にカヌーやサイクリング、
おいしいチーズやワイン、ヒツジやウマなどの動

物たちとの触れ合いなど、たっぷり楽しんでいた
だきたいから、鶴居村は、暮らすような旅「農泊」
をここに宣言します。農泊は、長期滞在型の新し
い旅のかたち。暮らしや仕
事、自らのライフスタイルを
自由に選べる時代だからこ
そ、「農村で暮らす」リアルを
体感できる旅が注目されて
います。移住者との交流や農
家との触れ合いが、ここら
ではの素敵な価値観を教え
てくれるはずだ。

▶通年 ●「鶴居村湿原流域ガイドマップ」の販売

[HP] <http://tsurui-kanko.com/>

（株）FMくしろ



釧路専門学校環境教育研究センターの大西英
一センター長のお話で、釧路湿原の植物・動物・
歴史・今起きている出来事などを分かりやすく
ご紹介しています。放送後には、FMくしろポッ
ドキャストで音声も配信しています。

▶金曜11:10～ ●ラジオ番組「ゆうゆう釧路湿原塾」の放送

[HP] <http://www.fm946.com/>

お菓子司 二幸

「湿原まんじゅう」の販売を
通じてタンチョウや湿原に
ついて伝えました。



大八木英雄

湿原周辺の清掃活動や放置された釣り糸の回収を行いました。その他、散策中に気が付いた事を再生普及行動計画オフィスへ報告しました。



カヌープロ

カヌーの楽しさを知っていただく事で自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝えています。

川口秀人

釧路湿原やその周辺に生息する動植物や風景をポスターやカレンダーにして掲示しています。見ていただく事で関心を持って頂き湿原の持つ課題や保全を考えるきっかけになっていただける事を目的としています。

環境コンサルタント株式会社

毎年ボランティアを募集し、カヌーに乗船して釧路町達古武湖湖面のゴミ拾いを行っています。今年度は22名のボランティアの方々がご参加くださいました。釧路湿原自然再生事業と、当社のゴミ拾い活動の目的を説明後、地元のカヌープロさんからご提供いただいた3人乗りのカヌーに乗船して、清掃活動にご協力いただきました。これまでの活動の成果として湖面にはゴミがほとんど無く、後半は景色や達古武湖の自然を楽しみました。清掃後は、事前に達古武湖で採取した「ヒシの実」入りの「いもだんご」の試食。「ヒシの実」が「意外と美味しい」と毎年好評です。釧路湿原や自然再生に関心がある方は、お一人からでもお気軽に参加していただけます。



▶9/14 ●カヌー DE 清掃 IN 達古武湖 (参加:22名)

[HP] <http://kankyocon.co.jp>

喜多島麻鈴

「チャリティー釧路湿原フェスティバル」に出演し釧路湿原のPRと募金活動を行い、釧路湿原自然再生協議会に寄付しました。

NPO法人 環境把握推進ネットワーク～PEG

釧路湿原の代表生物キタサンショウウオの観察会を実施しました。イベントでは、北海道に

生息するサンショウウオの生態や保全活動についてのレクチャーに加え、キタサンショウウオ及びエゾサンショウウオの繁殖活動の夜間観察会を実施しました。



▶4/18 ●キタサンショウウオ観察会(キタサンショウウオに関するレクチャーと夜間観察会)(参加者:15名)

[HP] <http://npo-peg.raindrop.jp/>

NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト

毎月発行されるワンダグリンダニュースを、当団体が運営する霧多布湿原センターにて掲示し、釧路湿原での取り組みを紹介しています。また当団体のイベントのご案内を、ワンダグリンダニュースに掲載をお願いしています。2019年度は、霧多布湿原の自然を紹介する展示を実施しました(主催・共催・協力・後援・その他会場提供等を含みます)。



町内版広報「きりたっぷしつげん」(偶数月発行)・きりたっぷ湿原ナショナルトラストファンクラブ通信「きりたっぷ湿原」(年1回発行)
※町外の方、非会員の方も、霧多布湿原センターで、各広報紙を受け取ることが可能です。

▶3/20～5/8 ●企画展「私の好きな霧多布～雨の日も、晴れの日も～」
▶4/1～28、8/18～31 ●NPO法人エトビリカ基金/パネル展「ラッコの住む霧多布島」
▶5/13～6/2 ●デジタルボランティア会 写真展「初夏の霧多布湿原」
▶6/4～8/25 ●西田洋一写真展「道東・霧多布湿原と原生花園Aの四季」(会場:浜中町・根室市・別海町)
▶8/6～9/5 ●バーバリウム・霧多布 特別展「あなたの知らない外来種の世界～はるばる来たぜ、浜中へ～」
▶9/19～10/10 ●企画展「～おそとえほんとキャンプごっこ～」
▶12/4～1/1 ●パネル展「トウキョウトガリネズミが結ぶ縁」
▶2/9～3/30 ●ゼニガタザザン研究グループ「ゼニガタザザン展」

[HP] <http://www.kiritappu.or.jp/>

[FB] facebook.com/kiritappuwetlandcenter/

釧路国際ウェットランドセンター



釧路国際ウェットランドセンターは、地域の豊かな自然や充実した施設、官民をつなぐネットワークを活用し、設立以来、海外途上国を対象

とした国内研修、国際会議、国際交流等を通じて国際協力を実施しています。また、地域住民に対する湿地の保全と賢明な利用に関する普及啓発・調査研究活動にも力を入れており、地域の専門家と連携して調査研究、講演会、環境教育、エコツアー等を実施しています。事務局は釧路市役所内にあり、関係自治体や省庁、教育機関などで構成されています。

▶6/15 ●みんなで調べる復元河川「環境」2019夏 (参加:19名)
▶9/21 ●みんなで調べる復元河川「環境」2019秋 (参加:41名)
▶6/28～8/1 ●JICA課題別研修「自然環境行政官向けのエコツーリズム」(参加:8名)
▶10/23～11/8 ●JICA青年研修「大洋州/地域における観光振興コース」(参加:14名)
▶2/1 ●世界湿地の日記念「冬のエコツアー」(参加:21名)

[HP] <https://www.kiwc.net/>

[FB] facebook.com/kushiroKIWC/

くしろ自然再生解説員

細岡展望台で釧路湿原の特徴や釧路湿原自然再生事業などについて、ボランティアで解説活動を行っています。平成16年度から活動しており、令和元年度は15名の方が登録しています。釧路湿原の魅力を伝えるボランティア活動で、特に資格は必要ありません。年間を通じて解説員を募集しておりますので、ご興味のある方はご連絡をお願いいたします。



▶5月～9月 ●釧路湿原の特徴や釧路湿原自然再生事業の取り組みについて、国内外の観光客の方々に発信することで、釧路湿原自然再生の普及啓発を行いました。(聴聞:328名)

[HP] <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend000000618p.html>

釧路湿原MTBクラブ

第25回「釧路湿原一周110キロ」を実施しました。走行時間AM5:00～PM7:00、30℃越えの猛暑の中、頻りに休憩を入れて14時間かけてゴール。釧路湿原MTBクラブのメンバーなど6名が参加。大分県から参加のお2人は、釧路湿原の名所や展望地を一日で廻る、壮大なスケールのツーリングに大きな感動と満足を感じた様子でした。タイヤから伝わる自然を肌で体感。ゴールした時の達成感と満足感は何事にも代えがたいものでした。



▶2/10 ●塘路エリア スノーシュー・コラボツーリング (参加:2名)
▶4/13 ●ゴミ拾いイベント参加協力:クリーンツーリング (参加:2名)
▶5/26 ●第25回「釧路湿原一周110キロ」(参加:6名)
▶8/25 ●釧路名所めぐり・シティライド (参加:4名)
▶9/22 ●細岡展望台の林道ツーリング (参加:2名)

[HP] <http://kushiromasa.sakura.ne.jp/>

釧路湿原川レンジャー



釧路湿原や釧路川の日常生活で気づいたことを報告する観察活動や、釧路湿原、河川環境などの理解をより深めるための学習会を行うボランティア活動です。令和元年度は123名の方が登録されました。川レンジャーにご登録いただいた方には、学習会やイベント情報のお知らせ、ニュースレターを定期でお送りしています。

- ▶6/19 ●第1回川レンジャー学習会「花咲かじいさんプロジェクト（樹木生育観察・植樹・ポット苗作り）及び外来種（オオハシゴソウ）防除」（岩保水門付近）（参加：15名）
- ▶8/1 ●第2回川レンジャー学習会「水質調査・水生生物調査及びしべちゃ水辺楽校祭」（標茶町）（参加：20名）
- ▶9/7 ●第3回川レンジャー学習会「様々な自然環境を学ぼう（川湯エコミュージアムセンターでの座学・散策）」（弟子屈町）（参加：24名）
- ▶年間 ●釧路湿原や釧路川での観察活動で、野鳥の観察報告や散策路の状況報告などがありました（報告：12件）

[HP] <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003nus.html>

釧路湿原国立公園 ボランティアレンジャーの会



74名の国立公園ボランティア・レンジャーが力を合わせ、国立公園での自然ガイド、美化清掃、外来生物の防除などの活動を行いました。環境省やビジターセンターとも連携して、地元小中学校の湿原学習サポート、国立公園パトロール、動植物の調査にも協力しました。

- ▶4月～11月 ●クリーンウォーク（参加：134名）
- ▶4月～10月 ●オオハシゴソウの防除（参加：32名）
- ▶6月～9月 ●ウチダザリガニの防除・調査（参加：96名）
- ▶7/6 ●国立公園クリーンデー（参加：24名）
- ▶7/28 ●ウチダザリガニ捕獲&試食体験（参加：17名）
- ▶12/14 ●温根内VC・塘路湖EMC大掃除（参加：10名）

[FB] facebook.com/kushiro.vr

釧路湿原国立公園連絡協議会



釧路湿原国立公園連絡協議会は、環境省釧路自然環境事務所、北海道釧路総合振興局、釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村で構成されており、関係機関との情報交換・連絡調整や国立公園

における自然観察などの利用の促進のほか、こどもレンジャー活動や自然ふれあい行事の開催など、湿原に親しむさまざまな活動を行っています。また、自然情報誌の無料配布、ガイドブックの販売、ホームページを通じて釧路湿原の見所や周辺施設の紹介など、釧路湿原に関する情報提供を行っています。

- ▶7/6 ●釧路湿原国立公園クリーンデー（温根内ビジターセンター及び駐車場周辺）（参加：91名）
- ▶7/27 ●釧路湿原こどもレンジャー第1回「運行30周年記念」釧路湿原ノロコ号に乗って釧路湿原を学ぼう！（参加：レンジャー14名）
- ▶8/31 ●釧路湿原こどもレンジャー第2回「春探湖のウチダザリガニ2019」（参加：レンジャー3名）
- ▶1/18 ●釧路湿原こどもレンジャー第3回「めざせ！タンチョウ博士」（参加：レンジャー7名）
- ▶令和元年度自然ふれあい活動（年25回開催、参加者合計331名）

[HP] <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会

車いすマラソン大会も34回目を迎え、道内外の車いすマラソンランナーと健常者の参加を得て開催されました。本大会の理念は「障がい者スポーツを通じたノーマライゼーションの広がり、浸透」です。個人や団体のボランティアの皆さんの協力をいただき、広がりには着実に浸透されていると感じています。



- ▶7/13 ●釧路湿原全国車いすマラソン大会 競技説明会・開会式・前夜祭（会場：釧路プリンスホテル、参加：選手等約45名・来賓関係者約40名 約85名）
- ▶7/14 ●釧路湿原全国車いすマラソン大会・競技・閉会式（会場：釧路市民陸上競技場、参加：選手74名・来賓関係者約100名・ボランティア約700名・係員約100名・合計約1,000名）

釧路湿原マラソン実行委員会



マラソン当日は非常に暑く、例年よりも厳しいコンディションでの開催となりました。釧路湿原内のコース（30km種目）の参加者には釧路湿原の自然を十分満喫、関心を高めていただきました。また、参加者の皆様からも「釧路湿原の素晴らしさに感動した」「また来年もぜひ参加したい」との声も多数ありました。

- ▶7/28 ●第47回釧路湿原マラソン（参加：3,188名）

[HP] <http://kushiroshitugen-marathon.jp/index.shtml>

釧路市中央図書館

釧路市中央図書館は、北大通りに開館し3年目を迎えました。中央図書館の各フロアには、テーマが設けられており、7階から「ゆったり多彩な図書館ライフを楽しむフロア」、6階が

「文学の街釧路を楽しむフロア」、5階「じっくり読書じっくり調べるためのフロア」、4階が「子どもと大人と一緒に読書を楽しむためのフロア」となっております。利用される方一人一人がモラルを守りながら、それぞれにテーマに基づいた使い方や過ごし方ができる場所です。6階には文学館が併設され、より釧路の文学に親しめる場所となっています。また、図書館では教科書で紹介されている図書を学校に一定期間貸出する「読書活動サポートセット」事業や図書を体育館に並べ自由に読みたい本を選んでもらう「ブックフェスティバル」事業など学校と連携した読書環境づくりにも取り組んでいます。



- ▶4/27～7/21 ●文学館企画展示「原野の文学」 釧路湿原や釧路川など原野の風景が描かれた文学作品の展示と根釧原野開拓に生きた2人の詩人を紹介（参加：来場多数）
- ▶5/29～6/16 ●原野の文学運動企画「釧路湿原自然再生への取り組み～湿原と共に暮らす未来の子どもたちのために～」 釧路湿原自然再生事業についてパネルを交えながら紹介（参加：来場多数）
- ▶5/30～6/16 ●「湿原と湿原の生きものの特集」『釧路湿原自然再生への取り組み』パネル展に合わせ、湿原と湿原の生きものについての関連本を集めたコーナー（参加：来場多数）
- ▶8/3 ●ペーパークラフト教室「たんちようをつくらう」 講師：辻野正 キットを使って2羽のたんちようを作る（参加：7名）

[HP] <http://kushirolibrary.jp/>

釧路市博物館

釧路湿原に関わる調査を行い、企画展示や観察会、講演会などで湿原の魅力を伝えていきます。釧路市立博物館は、1936年に設立しました。常設展示室では、湿原の生き物はもちろん、釧路の豊かな海と大地、それに育まれた歴史と文化も紹介しています。



- ▶4/13～6/23 ●企画展「すてきな昆虫（むし）たち」（参加：6,714名）
- ▶6/29～9/29 ●企画展「あなたとカラスのおつきあい」（参加：11,705名）
- ▶10/3～27 ●巡回展「第25回タンチョウイラスト展」（参加：2,243名）
- ▶12/21～3/8 ●新着資料ミニ展示「すてきなオサムシ」（参加：3,536名）
- ▶1/9～5/10 ●新着資料ミニ展示「白いオオアシタガリネズミ」（参加：3,543名、3/31まで）
- ▶1/11 ●フロアトーク「歩く宝石」オサムシの魅力語る（参加：18名）
- ▶1/18 ●フロアトーク「トガリネズミってネズミじゃないの？」（参加：18名）
- ▶2/15～3/8 ●あなたの知らないスゲの世界 in 釧路（参加：607名）
- ▶2/22 ●毛糸のやっちゃんを作ろう！（参加：17名）
- ▶3/14～5/17 ●企画展「釧路のイトウと淡水魚」（参加：682名、3/31まで）

[HP] city.kushiro.lg.jp/museum/

[Twitter] twitter.com/kushiro_museum

[Facebook] facebook.com/kushiro-museum/

釧路シャケの会

1985年から釧路川にシャケの稚魚を放流しています。里親制度を設け、学校や幼稚園の他一般家庭や職場等で1月～5月5日まで稚魚を育てて頂き放流します。2019年度は約30組の里親に1万5000粒の発眼卵を預けてもらいました。2020年5月5日の放流式には里親さんのほぼ全員がご参加下さり、体調5～6cm程に育った稚魚を川に放流しました。街の中に豊かな自然がある環境を目指して、今後ともこの活動を続けていきたいと思っています。



▶5/5 ●第36回釧路シャケの会放流式

釧路走ろう会

走ることが大好きな者たちが集い42年になります。会員はそれぞれに目標を持ち、各種大会に参加し成果を上げています。また月例的に練習会を行い親睦を深め、新入部員を募集しています。釧路湿原に関わる活動は下記のとおり。現在部員男子28名・女子10名



- ▶4/7 ●練習会 美原運動公園周辺 (参加:11名)
- ▶6/9 ●間宮杯1/3マラソン (参加:5名)
- ▶7/28 ●釧路湿原マラソン (参加:選手及び大会役員25名)
- ▶8/4 ●練習会 美原運動公園周辺 (参加:7名)
- ▶12/22 ●サンタラン (参加:部員10名)

毎年恒例(平成24年から)のサンタランを、幣舞橋から釧路駅周辺の一往復をサンタクロースの出で立ちでジョギング。新入部員の勧誘・北大通り活性化を呼びかけながらプレゼントと共にワンダグリンダ・プロジェクトのポケットティッシュを配りPRしました。

釧路ボタニカルアートの会

釧路・北海道地域に生息する植物を観察し描いています。

釧路マーシュ&リバー



陸上およびカヌーを使って水上からのごみ拾いを実施しています。また釧路湿原の四季の移ろい、ここにしかない魅力、現状、重要性を、日本や、諸外国から訪れた方々に発信しています。

- ▶6/12 ●陸上のごみ拾い(スガワラ付近、二本松付近、細岡付近、岩保水門付近) (参加:スタッフ4名)
 - ▶6/12 ●川のごみ拾い(スガワラ～二股) (参加:約10名)
 - ▶10/19 ●トヨタソーシャルフェス カヌー体験 (参加:約100名)
- 「クリーンHOKKAIDOプロジェクト生態系の宝庫、美しい釧路湿原を守ろう！」 釧路湿原での清掃活動と釧路川水域でのカヌー体験により、日本最大の湿原面積を誇る釧路湿原の雄大さを体感してもらうとともに、地元の国立公園の保全、保護に対する意識の醸成を図ります。

[HP] <http://www.946river.com/>

NPO法人 釧路湿原やちの会

年々勢力を広げている外来植物「オオアワダチソウ」の駆除に取り組んで4年になります。2019年には外部への協力依頼はせず、会員を中心に行いました。特に天然記念物指定地域入口付近を重点的に駆除していますが、目に見えての成果は得られていません。根気よく続けるのが最善策と考え、新年度も続ける予定です。

- ▶10月中旬 ●キラコタン入口付近のオオアワダチソウ駆除活動 (参加:会員7名、環境省アクティブレンジャー)

[HP] <http://www.kushiro-yachi.com/>

こどもエコクラブくしろ

今年度は、特定外来生物ウチダザリガニ調査捕獲防除と、釧路湿原のマールハナバチ観察調査～特定外来生物セイヨウオオマルハナバチ捕獲駆除～を実施しました。



- ▶6/23午前 ●釧路湿原の特定外来種ウチダザリガニ捕獲防除調査 (参加:4名、実績:173尾)
 - ▶7/28午前 ●市民参加特定外来生物ウチダザリガニの捕獲&試食体験実施(参加:7名、実績:140尾)
 - ▶9/29 ●釧路湿原の特定外来種ウチダザリガニ捕獲防除調査(参加:7名、実績:104尾)
- 環境省釧路自然保護官事務所、釧路湿原国立公園ボランティア・レンジャーの会との協働活動で5月から9月まで月1回実施しました。なお8月の調査捕獲防除は雨の影響による河川増水のため中止。捕獲したザリガニは捕獲地点別に雌雄の別、体長、重さ、頭甲胸長などを計測記録し、釧路湿原の生態系保全につなげるためデータを取り、環境省釧路自然保護官事務所が適切に処理しました。今年度、特定外来生物ウチダザリガニの捕獲防除数は417尾(雄:219/雌:198)でした。

- ▶5/19 ●釧路湿原温根内地区の特定外来種セイヨウオオマルハナバチ調査防除 (参加:8名、実績:0頭)
- ▶6/23午後 ●同(参加:5名、実績:0頭)
- ▶7/6 ●同(参加:2名、実績:3頭)
- ▶7/24午後 ●同(参加:1名、実績:9頭)

釧路湿原に侵入した特定外来種セイヨウオオマルハナバチの影響から、在来マルハナバチや貴重な湿原植物を保全する目的で、釧路湿原温根内地区の新釧路川右岸堤防で観察調査を実施し、本年度はシロツメクサに訪花(吸蜜)した特定外来生物セイヨウオオマルハナバチ働き12頭を捕獲駆除しました。マルハナバチ(在来や特定外来種)の多くは、湿原内の豊富な植物を訪花(吸蜜)植物として利用しているのを目撃。なお、観察調査地で相次ぐヒグマの出没目撃情報や、前線通過や台風接近による大雨で河川が増水し、活動中の安全を第一に考え、止むを得ず7月末以後の観察調査を中止としました。

[HP] http://www12.plala.or.jp/ecoclub_kushiro/

小荷田行男

温暖化と共に進む「人口減少社会日本における人為環境の将来」を50年後に想定したミニレポートを、地元埼玉の「実生」に発表中！北海道特有のテーマは「戦後開拓地」「山間部の採草地」「酪農地帯」「別荘地」「ゴルフ場」「スキー場」「果樹園」「ササ原」など。興味を持たれた方は「実生」で検索ください。

- ▶6月中旬～10月中旬 ●釧路、根室、網走の現地調査

木幡 弥乃莉

ワンダグリンダメールニュースの挿絵や、報告書、ポスターなどのイラストを描いています。ワンダグリンダの取組みや釧路湿原について、少しでも多くの皆様に知ってもらい親しんでもらうためのお手伝いとして、これからも取り組んでいきたいです。



▶通年 ●ワンダグリンダメールニュース等の挿絵の作成

(一社) 釧路観光コンベンション協会

当協会管理施設(釧路市観光国際交流センター、釧路市湿原展望台、釧路駅観光案内所)で、釧路湿原など自然、体験のパンフレット、展示物を整備し、ご案内しております。今期は釧路市観光国際交流センターへ観光コンシェルジュを設置し、カヌーや定期観光バスの手配も拡充しています。また、HP、SNSの活用により、遊歩道の状況、施設情報等を利用者へ発信しています。



- ▶通年 ●観光インフォメーション
- ▶通年 ●Web・SNS

[HP] 釧路・阿寒湖観光公式サイト
<http://www.kushiro-lakeakan.com>
 [Twitter] 釧路市湿原展望台 @shitsugen55
 [Facebook] (一社) 釧路観光コンベンション協会

沢田建設（株）



当社が事業を展開する釧根地方は緑豊かな山々と美しい海岸線を誇り、この恵まれた環境を次世代に引き継いでいくことは、当社に課せられた責務です。環境に配慮した循環型社会を築くための具体的な活動として、釧路湿原周辺の清掃作業を行いました。

▶7/15 ●釧路湿原周辺清掃作業（参加：18名）

今回は岩保水門・細岡展望台周辺・二本松橋～コッタ口展望台、湿原展望台～音羽橋駐車場周辺、また湿原道路歩道部のゴミ捨て場を集中的に収集しました。橋梁補修工事の影響で交通量が減少し、ゴミの量は少なくなっています。活動当初に見られた自転車やタイヤなどの大型の不法投棄物は今回はなく、ドライバーのマナーも向上していると実感しています。

品田 忠

倒木や流木などを活用して様々な動物たちを作り、各所で展示しました。毎年夏休み冬休み期間には、釧路市ファミリーサポート事業のサポーターとして、子供たちに木工作品の作成指導をしています。活動を通して普段直接自然に触れられない方たちにも自然の魅力や保全の大切さを伝えていきたいと思っています。



▶夏休み冬休み期間 ●釧路市ファミリーサポートにて木工体験教室の実施

シルバーシティとぎわ台ヒルズ

釧路湿原について学ぶ自然文化講座と自然再生事業紹介パネル展を開催しました。



▶2/1～2/27 ●ヒルズギャラリー「釧路湿原自然再生協議会」紹介パネル展（再生事業紹介パネルの他、釧路湿原に生息する生き物のパネル写真やペーパークラフト作品を展示）

▶2/2 ●自然文化講座 講師：釧路国際ウェットランドセンター事務局長 菊地義勝氏。

[HP] <http://www.silvercity.jp>

タクッパ（ペンネーム）



●「タクッパさんのちよっぴりアイヌ語講座」メールニュース『ワンダグリンダ☆ニュース』の中で、道東の自然、動植物、地名などのアイヌ語の紹介をしました。

●「アイヌ民族が利用した植物を観察しよう」温根内自然ふれあい行事で、アイヌ民族が利用した植物の解説をしました。

▶5/12 ●「アイヌ民族が利用した植物～春編～」

▶9/8 ●「アイヌ民族が利用した植物～秋編～」

[blog(タクッパさんのちよっぴりアイヌ語講座)]
<http://takuppa.blog.jp/>

太平洋総合コンサルタント(株)

小学生や高校生を対象とした体験型環境学習を開催しました。



▶7/19 ●別保小学校における体験型環境学習(ペットボトル浄化実験他) (参加：別保小学校5年生30名)

①ペットボトル水質浄化実験：底を切ったペットボトルに砂、石、木炭等を詰め、上から濁水を注ぎ、どの程度水がきれいになるかを調べました。②水生生物の観察：サンタクンベ川(釧路川水系支流)で採集した魚類等を水槽に入れ、種名や特徴を観察しました。

▶10/2 ●標茶高校における体験型環境学習(水質・魚類調査) (参加：標茶高校1年生A組約35名)

▶10/3 ●標茶高校における体験型環境学習(水質・魚類調査) (参加：標茶高校1年生B組約35名)

①水生生物調査：釧路川に生息する水生生物の調査。生徒が川に入りタモ網で魚類等を採集し、種名、特徴、生態等を学びました。②水質調査：釧路川と牛舎糞尿(高校で乳牛を飼養)の水質調査。生徒がバックテスト等により水質を調査し、汚濁やその原因等を学びました。

[HP] <http://www.taicon.co.jp>

竹中康進



西表石垣国立公園での取組紹介を通じて、釧路湿原とのつながりを構築します。2018年より、環境省西表自然保護官事務所で勤務して

います。西表石垣国立公園には、約50名のパークボランティアが活動。従来は単発的な活動が中心でしたが、19年からは釧路湿原と同様に定期活動日を設定し、外来種(ツルヒヨドリ、ボタンウキクサ)の駆除、海岸清掃、イリオモテヤマネコの交通事故防止のための道路脇の草刈り作業やアンダーパスの清掃などを実施。20年からは新メンバーも増え、より活発な活動をめざします。また釧路湿原パークボランティアとの交流を進めたいです。

▶定期的 ●外来種(ツルヒヨドリ、ボタンウキクサ)の駆除、海岸清掃、イリオモテヤマネコの交通事故防止のための道路脇の草刈り作業など

田中道人

ドローンで釧路湿原を撮影し、動画で紹介しています。



▶適宜 ●釧路湿原の空撮写真の提供

▶5/30～6/16 ●釧路湿原空撮写真展(釧路市中央図書館)

▶11/9～11/10 ●これまで作成した釧路湿原の動画上映会(釧路市生涯学習フェスティバルまなトピア2019)

[HP] <https://www.tanaqoo.com/>

NPO法人 タンチョウ保護研究グループ

タンチョウ標識調査、国際エコキャンプ、タンチョウ総数調査を実施しました。



▶6/22-7/21 ●タンチョウ標識調査 (参加：51名)

釧路市内の「わっと」で事前勉強会を実施しました。十勝、釧路、根室地方で予備調査を行なったのち、6月より7月まで、計13日間捕獲・標識調査を行いました。一般市民からの標識個体の確認情報の収集は随時行いました。

▶8/20-8/27 ●第6回国際エコキャンプ (参加：10名)

ツルと湿原保護のための環境教育活動で、中国の学生2名、日本の大学生2名を迎えて8月に実施しました。参加者は環境省ほか自然保護担当者によるレクチャーのほか、湿原内で、離巢後のタンチョウの古巣の形状や周辺の環境を調査と生息状況を視察しました。

▶10/19-10/24 ●東アジアにおけるツル保護のための国際ワークショップに参加 (参加：70名)

▶1/24-2/4 ●タンチョウの総数カウント調査 (参加：146名)
釧路市内の「わっと」でカウント調査事前勉強会を実施しました。調査は1月から2月の12日間、十勝、釧路、根室、日高、オホーツク、その他の地域で行いました。

[HP] www6.marimo.or.jp/tancho1213

新 Charcha

【はじめまして！】夫婦で釧路市に長期滞在しています。川村正春・初枝です。昨年から千葉県柏市に居住しましたが、釧路の自然をこよなく愛し、釧路の自然を守る人々との交流を大切にしたいと思っています。



毎年夏(7月から9月)釧路に長期滞在して釧路湿原の自然再生活動と清掃活動、ワイズユースのお手伝いをしています。2010年から釧路をホームページにて紹介している他、facebook、instagramでも活動報告と告知をしています。

夏の期間の野外活動を増やして欲しいと思います。単なる旅行代理店が行う観光活動風ではなく、問題点を認識し、将来にわたるワイズユースの継続的な活動によって経済的にも進化するための議論をすべきだと思います。研究発表やワイズユースのたたき台を作成するお手伝いもできれば嬉しいです。

[HP] <http://masaharu0321.g1.xrea.com/charcha.html>
[FB] <https://www.facebook.com/masaharu.kawamura.9>
[instagram] <https://www.instagram.com/masaharu.kawamura/?hl=ja>

辻野 正

葦の葉などでバッタを作る技法を応用して釧路湿原に生息する生き物(ecology)を無駄のない設計(economy)のペーパークラフトを紹介しています。新たな団体のイベントに招かれたり、長期展示が多くなり、販売も行いました。なお、活動の様子を釧新・道新に掲載され又Facebookで紹介しています。



- ▶5/29〜6/16、8/3 ●釧路湿原再生事業 (釧路中央図書館、参加者:多数)
- ▶6/22 ●土曜まなび場(小学生・親子)(健康福祉センターあいばー、参加者:6名)
- ▶6/29 ●くしろエコフェア2019 (イオンモール釧路昭和店、参加者:多数)
- ▶8/31 ●わっと生誕祭 (市民活動センターわっと、参加者:多数)
- ▶9/28〜29 ●景中祭 (景雲中学校、参加者:多数)
- ▶9/29 ●博物館まつり (釧路博物館、参加者:多数)
- ▶11/9〜10 ●まなトピア2019 (明輝高校、参加者:多数)
- ▶11/23〜24 ●釧路模型展示会 (釧路中央図書館、参加者:愛好者多数)
- ▶12/21 ●釧路駐屯地年忘れ (釧路駐屯地内、参加者:隊員家族20名)
- ▶12/22 ●釧路走ろう会 サンタラン (北大通、参加者:コース上の方々60名以上)
- ▶1/11 ●グローバル・みらい・ネット(MOO、参加者:多数)
- ▶2/1〜28 ●シルバースティとさわ台ヒルズギャラリー展示(とさわ台ヒルズ、参加者:小学生10名)
- ▶2/16 ●冒険の杜プロジェクト (上尾幌事務所、参加者:スタッフ3名)
- ▶2/20 ●ワクワク二、六の会 (MOO、参加者:会員11名)
- ▶5/17 ●シルバー・ミューズをはじめ来航クルーズ船の歓迎イベント (他5/25、7/13、9/3、10/10 MOO)
- ▶通年 ●ワンダグリンダプロジェクトの活動紹介(塘路エコミュージアム、温根内ビジターセンター、湿原再生センター、参加者:多数)

(株)鶴居村 鶴居どさんこ牧場

在来馬である北海道和種馬(通称:道産馬)に乗り、ホーストレッキングを通して、釧路湿原の貴重な野生動物や植物を探勝しています。



▶通年 ●ホーストレッキングを通して釧路湿原の貴重な野生動物や植物を探勝 (参加:約2,200名/年間)

[HP] <http://dosanko-farm.com>

新 ▶ 鶴田義成

【はじめまして!】 25年前に釧路で6年間勤務しました。退職後、涼しく爽やかな気候に惹かれ千葉県市川市から訪釧し夏の3か月間を妻と過ごしています。湿原流域で開催される様々な催事に参加し、体験を通して人との出会いなど70代半ばの熟年時代の充実を図っています。特に釧路湿原再生・保全事業には毎年参加して、環境変化を体感するのを楽しみにしています。今後も積極的に釧路湿原の再生に取り組んで行く所存です。



参加初年度であることから、釧路湿原再生に関係した諸行事に積極的に参加しました。特に再生事業補完の活動を注視し、湿原再生にとって何が必要であるか勉強することを心掛けました。夏季以外の市川市に居る時は、所属サークルの人達に、機会を見つけ釧路湿原の縮小と湿原再生を官民挙げて行っていることについて話し、釧路湿原に足を運んでもらう様お願いしています。今年度は夏冬の特別体験ツアーにも参加しました。

NPO法人 トラストサルン釧路



トラストサルン釧路は、地元の宝である釧路湿原の環境保全を図るため、市民からの寄付を集めて自然保護地をつくる民間活動を進めている団体です。保護地にするのは、国立公園の区域外などで保全のための規制がない、あるいは規制の弱い湿原、また湿原に水を供給するために重要な周辺の丘陵地帯です。丘陵地帯では水源林を再生するため、自家産の地元樹種の苗木による植林活動も行っています。これらの活動を市民にも理解していただき、また釧路湿原を楽し

むことで保全に対する理解を深めてもらえるよう、市民向けの活動を毎年展開しています。

- ▶5/5 ●市民参加植林作業 場所:達古武保護地他(6/2まで、327本植樹)
- ▶5/19 ●「湿原再生の森づくり」イベント開催 場所:達古武保護地(参加:24名、86本植樹)
- ▶6/30 ●第29号自然保護地(標茶町クチャロ)観察会開催(参加:21名)
- ▶9/29 ●第21号自然保護地(コッタロ水源林保護区)観察会開催(参加:21名)
- ▶10/6 ●「どんぐり記念日」開催 場所:達古武保護地(参加:56名)
- ▶11/10 ●達古武湖畔水鳥観察会開催 場所:達古武湖(参加:26名)

[HP] <http://trustsarun.life.coocan.jp/>

(株)日専連釧路

「日専連釧路フィッシャーマンズワークカード」を発行し、利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付しております。2019年度は11月11日に「スノーシュー」7セットと「スキーボール」11組を釧路湿原国立公園連絡協議会会長の蝦名釧路市長に寄付を致しました。



[HP] <https://nissenren946.com>

西村咲輝

釧路湿原でバードウォッチングを楽しみながら清掃活動を行っています

西村孝広

釧路湿原で釣りを楽しみながら清掃活動を行っています

▶通年 ●釣り。回収活動

(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

鶴居村の小学生と鶴居村タンチョウ愛護会の皆さんが力を合わせて、冬に鶴居村に集まるタンチョウが、凍らない小川で自然の餌が採れるように、藪を払ったり倒木の除去作業をしました。このような冬期自然採食地の整備は、1993年から継続的に行っており、地元の子供たちが参加するようになって、今回が5年目。活動を通じて、地元の子供たちが鶴居村の自然の豊かさを感じとり、タンチョウ保護の活動にも直接かわれる、良い機会になっています。



▶9/7 ●「タンチョウの冬の食事場所を作ろう2019」(参加:34名)

[HP] <http://park15.wakwak.com/~tancho/>

新▶ 長谷泰昌

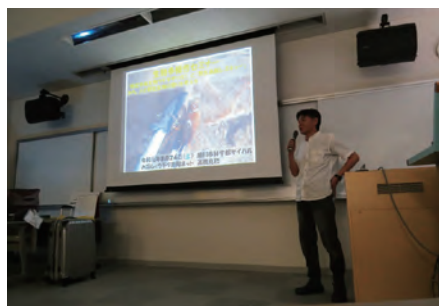
【はじめまして！】 鶴居村立幌呂中学校教員の長谷泰昌です。専門教科は理科です。昨年湿原に近い幌呂中学校に転勤となり、それを機にワンダリングプロジェクトに参加させて頂きました。湿原探索を何度か体験させて頂き、そのうち一回は子供も参加し、湿原の植物と地形の関係や歴史に触れ、大変興味深い体験をさせて頂きました。コロナウィルスにより学校の授業も、今後どのように進めることができるか分からない状況ですが、少しでも地域の子どもたちが体験を通して湿原を理解し、大切に思ってもらえるような機会を作ればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



8月、本州と札幌の先生方8名を湿原散策にご案内しました。コースは鶴居村教育研究所理科部会の実技講習会で、釧路ウェットランドセンターの新庄久志様に案内して頂いたものと同じルートとしました。残念ながらスケジュールが押して時間が短くなったこと、霧が濃く見通しが悪かったことなどから、コースを短縮して実施せざるを得ませんでした。野外に不慣れな人が多く、列も長くなり解説も十分にできず悔いが残りましたが、また機会があれば、天候や参加者に合わせ、その時のベストのコースを考え、案内できるようになればと思っています。

新▶ 北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク

【はじめまして！】 北海道ウチダザリガニ防除ネットワークは、その名のとおり北海道内各地でウチダザリガニの防除活動に取組む市民団体等とのネットワークをつくり、情報交換・連携を深めることを目的に活動しています。今まで、通信紙の発行・トランクキットの製作・外来ザリガニサミットの開催などの活動を行い、また、道内各地の防除団体と交流してきました。道内では釧路湿原周辺を始め、屈斜路湖・遠軽町湧別川・旭川市江丹別川・洞爺湖などで、地元の方々が懸命に活動しているのを見てきました。「無理せず・楽しく・でも真剣に」をモットーに、これからも頑張っていきたいと思いますので、皆様の御声援をよろしくお願いします。



遠軽町湧別川での防除活動・北見市におけるプロジェクトに見学参加するほか、8月には旭川

市主催の「生物多様性セミナー」に当ネットワーク代表が講師として招かれ、釧路湿原周辺のウチダザリガニ防除の取組について紹介させて頂きました。

ミュージックサロン・タジマ

歌を通じて釧路湿原の自然再生に貢献する事が目的のフェスティバルを開催しています。出演者が募金活動を行い釧路湿原自然再生協議会に寄付しました。今後も歌を楽しみながら釧路湿原を守る活動を続けていきたいと思っています。



●第7回チャリティー釧路湿原フェスティバルを開催。

新▶ 宮部 碧

【はじめまして！】 愛知県豊田市立上鷹見小学校5年生です。小学校2年生の時に初めてオオタカを見てカッコいい姿に興味を持ち今では猛禽類が大好きです。猛禽類の事を調べ始めた時に釧路湿原で獣医師をしている齊藤慶輔先生の本に出会い釧路湿原や先生の活動をもっと知りたいと思うようになりました。釧路湿原は大きくて美しく生き物がいっぱいですすごい場所です。釧路湿原で見たオオワシやオジロワシ、タンチョウが広い空を悠々と飛んでいる姿に感動したので、僕の住む町も空を見上げると猛禽たちが悠々と飛んでいるような場所にしたいと思いついて自分出来る事に取組んでいます。



・釧路湿原で湧き水の調査を行いました。たくさん栄養が含まれる豊富な水が多く命を育んでいて、この湿地を守ることが生きものや猛禽類たちを守ることにつながると分かりました。
・釧路湿原と同じラムサール条約登録湿地である上高地湿地で行っている保全活動と釧路湿原や齊藤先生の活動から学んだことなどを「猛禽新聞」にまとめ情報発信しました。猛禽類と言っても知らない人が多いので、みんなに猛禽たちの魅力を知ってもらって自然や生き物たちが安心して住める環境にしたいと考えています。

▶通年 ●「猛禽新聞」の発行
▶7月 温根内木道での釧路湿原ガイドウォーク
湧き水調査、猛禽類医学研究所給餌体験
▶11/25～3/31 ●猛禽新聞展示(温根内ビジターセンター)

やちうラボ

釧路湿原のやちぼうずや鳥などを紹介し、来訪者や地元の人に釧路湿原の魅力を伝える活動をしています。その他、釧路湿原に関する写真の提供。年数回ブログを更新など。

[Blog] <https://blog.goo.ne.jp/yachilabo2016>

新 (株) 優輪 (やわらぎ)

【はじめまして！】 ～思いやりとお互い様～をモットーに、地域の皆様と共に人生を考える総合福祉サービス事業の株式会社 優輪(やわらぎ)です。介護・障がい福祉サービスをはじめとした生活上の困り事全般にわたってご支援致します。自分らしい暮らしや人生について一緒に考えませんか？



“カヌーD E 清掃IN達古武湖”というイベントに参加しました。カヌーに乗って、ごみ拾いを行い、清掃後に、繁殖するヒシの実入りのいも団子を頂きました。釧路湿原の恵みを美味しく頂き、より釧路湿原の自然に関心を持つことができました。生活している地域の事をもっと知り、ご利用者の方にも地域の移り変わりを感じてもらえるように、社員一同さまざまな活動に取り組んでいきたいと思っています。

▶9/14 ●カヌーD E 清掃IN達古武湖 (参加:12名)

[HP] yawaragi946.com

雷別 ドングリ倶楽部

トドマツ人工林が気象害に遭い、疎林・未立木地(笹地)となった雷別国有林(標茶町雷別)で、被害跡地の水土保全機能を高めるため、郷土樹種であるミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ等で構成されている広葉樹主体の森林への再生に向けて、広葉樹を植樹するとともに植栽木を野生動物の食害から保護するためツリーシェルターで被覆等を行いました。



▶8/28 ●第1回 京都大学北海道研究林(標茶町多和)で自然観察 (参加:13名)
▶10/16 第2回 笹地11でハルニレ・ヤチダモ・ミズナラ(100本)を植樹するとともに、ツリーシェルターで被覆 (参加:9名)
▶2/5 第3回:次年度の計画の策定等 (参加:11名)

[HP] http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

標茶町立標茶小学校

5年生の総合的な学習の時間で、釧路湿原をテーマに学習に取り組みました。子どもたちと湿原との出会いは、春の遠足。新緑の達古武湖を訪れ、環境省の保護官に案内してもらいながら、苗木を育てている畑を見たり、遊歩道からいろいろなものを発見したりと、子どもたち各自にさまざまな出会いがありました。また、標茶町としての取組みとしてカヌーで釧路川を下りながら湿原を体感する経験や、標茶高校内のミニ湿原を高校生の皆さんに案内してもらった機会も持つことができました。

こうした様々な体験の中で子どもたちに生まれた関心や疑問から、それぞれが課題を設定し、探究的な学習を行っていきました。一人一人が模造紙サイズの研究発表ボードに取りまとめ、地域参観日に発表会を行ったほか、標茶町内の施設で展示を行いました。



- ▶5/24 ●達古武湖周辺でのフィールド学習（参加：45名）
- ▶6/20 ●釧路川カヌー川下り
- ▶7/5 ●標茶高校でのミニ湿原探検
- ▶9/24 ●中間発表会（専門家からの助言）
- ▶11/27 ●地域参観日での学習発表会
- ▶1/24～2/3 ●標茶町開発センターでの展示
- ▶2/4～2/20 ●釧路湖エコミュージアムセンターでの展示
- ▶2/21～2/26 ●標茶町博物館での展示
- ▶3/22～4/12 ●釧路市子ども遊学館での展示

釧路市立中央小学校



5年生の総合的な学習の時間の中で、温根内木道を夏と秋に訪れ、湿原で見られるいろいろな植物や動物、季節の違いなどを観察しました。5年生の学習の中で湿原を2回訪問するのは初めての試みでしたが、1度目の湿原探検で各自が関心を持ったことを2度目の訪問時に改めて観察していた子、秋に見られた湿原の様子に新たな関心を持った子、実際に見ることはできなかったものの自分の関心があるテーマを追求した子など、2回訪問することで、子どもたちそれぞれが学びを深めている様子が見られました。

フィールドでの体験後、思い思いに関心を持ったテーマを図書資料やホームページで調べ、中間発表での専門家からの助言も受けながら、研究発表ボードにまとめていきました。

学習発表会では前年度に釧路湿原の学習を行った6年生や、招待した釧路市職員の方達の前で、一人一人が胸を張って発表を行っていました。また、発表したボード数枚を環境省にお預けし、学区内の施設で展示を行っていただきました。

- ▶7/11 ●温根内木道でのフィールド学習（参加：27名）
- ▶9/25 ●温根内木道でのフィールド学習
- ▶10/30 ●中間発表会（専門家からの助言）
- ▶11/28 ●学習発表会
- ▶2/17～2/26 ●釧路市役所での展示
- ▶3/22～4/12 ●釧路市子ども遊学館での展示

釧路町立別保小学校

これまで5年生の総合的な学習の時間では、太平洋総合コンサルタント(株)の協力をいただきながら学校前を流れるサンタクンベ川の学習に取り組んできましたが、今回、釧路湿原の流域という視点から、釧路湿原に視野を広げて学習に取り組みました。

細岡展望台や周辺のフィールドを環境省の保護官に案内いただき、同じ町内に広がる豊かな環境を目のあたりにして、子どもたちからは驚きの声が上がっていました。フィールド学習では、堅穴住居跡や湧き水の観察などもおこなうことができ、帰りのバスの車窓から湿原を走るノロッコ号にも出会うことができました。

フィールドでの体験後、一人一人が研究発表ボードへのとりまとめを進めました。中間発表会では、川の学習の際にお世話になった太平洋総合コンサルタントの方も駆けつけてくださり、児童の発表に耳を傾けアドバイスをしてくださいました。臨時休校となり学習発表会まで行うことはできませんでしたが、一部の発表ボードは環境省にお預けし、釧路市内の施設で展示を行っていただきました。



- ▶9/4 ●細岡展望台・周辺フィールドでの学習（参加：28名）
- ▶11/21 ●中間発表会（専門家からの助言）
- ▶3/22～4/12 ●釧路市子ども遊学館での展示

釧路町立富原小学校

4年生の総合的な学習の時間では、釧路湿原をテーマに年間を通した学習を進めています。今回は新たな取り組みとして、釧路湿原に起きている問題を体感するとともに、湿原のために自分たちができることの一つとして、ドングリの苗木を育てる試みを行いました。

環境省の保護官に案内いただき、二本松展望台で雄大な湿原の景色や大きく蛇行する釧路川、目の前を旋回するオジロワシなどを観察した後、流水の力で大規模に侵食した川の様子を見ながらお話を伺いました。

また、林野庁や環境省の職員に学校に来ていただき、指導を受けながら苗木ポットにドングリを植えました。毎年4年生が苗木づくりを引き継ぎ、いつか、大きくなった苗木を山に戻しに行けたらと考えています。



- ▶5/17 ●細岡展望台、温根内ビジターセンター訪問（参加：85名）
- ▶8/26 ●環境省保護官による出前授業
- ▶8/30 ●北斗遺跡、釧路湿原野生生物保護センター訪問
- ▶10/24 ●学校での苗木づくり（環境省、林野庁職員来校）
- ▶11/19 ●二本松展望台、久著呂川再生事業地訪問

釧路湖陵高等学校

理数科1年生では、スーパーサイエンスハイスクールの取組みの一環として、湿原環境の保全を目的とした環境調査の手法を学び、環境科学における科学的な探求手法を研修するとともに、自らが生まれ育った自然環境を科学的に理解する機会とすることを目的として、釧路湿原巡検を行っています。

巡検に先立ち、環境省保護官による事前学習やフィールドの事前予察を行い、釧路湿原に関する基礎的な知見の理解を深めるとともに、研修をより深く、安全に進めるための準備を行って巡検に臨んでいます。

巡検当日は、地表性昆虫、水辺の生き物の2つのテーマに分かれて専門家に指導を受けながらのフィールド調査を行ったほか、夢が丘展望台での研修を行い、森と川、湖とのつながりを体感しました。

巡検後は、得られたデータをまとめ、統計的な処理をするために必要な技術の習得やプレゼンテーション、英語での口頭発表に向けた学習を深めました。日本語での成果発表、JICA研修生とのディスカッション、英語の授業におけるプレゼンテーション資料と発表原稿の作成、英語プレゼンテーション選考会等を経て、1、2年生全生徒が参加するスーパーサイエンスハイスクール成果発表会での英語による口頭発表を行いました。



- ▶6/10 ●環境省保護官による釧路湿原巡検事前講義（参加：40名）
- ▶6/18 ●釧路湿原巡検事前予察（参加：代表生徒7名）
- ▶6/26 ●釧路湿原巡検（宮城県多賀城高等学校 災害科学科1学年3名も参加）
- ▶8/30 ●釧路湿原巡検発表会（日本語による成果発表）
- ▶9/10、11/13 ●JICA研修生への釧路湿原巡検に関する発表、ディスカッション
- ▶1/31 ●英語プレゼンテーション選考会
- ▶2/22 ●スーパーサイエンスハイスクール成果発表会（英語口頭発表）

釧路短期大学

湿原周辺地域の食材を使った、学生考案の「咲くサクッキー」をANAクラウンプラザホテル釧路と連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部を寄附)。釧路湿原にささやかな恩返し活動をしなが、皆様との繋がりの輪を広げたいと願っています。



- ▶9/28 ●コープさっぽろ「食のたいせつフェスティバル」jin釧路 (参加:約30名)
▶11/16 ●釧路短期大学学祭「緑輝祭」 (参加:約40名)
[HP] <http://www.midorigaoka.ac.jp/kushirojc/>

上智大学 フィールド実践型環境ゼミナール Human Ecology: Rivers

全編英語で行う上智大学のフィールド実践型環境ゼミナールで、日本における人間社会と自然環境の繊細かつ複雑な関係性への理解を深める授業です。身近にある「川」をメインテーマに東京の四ッ谷キャンパスで体系的な勉強をしながら関東近県でのフィールドワークを実施、8月に東京だけに留まっていたは決して学べない「環境」問題を釧路湿原を中心に6日間、道東でフィールドワークを行っています。川を通じて学ぶ人間社会と自然環境の連結性は、異なる風土・文化の中で育ってきた学生たちが、お互いに異なる視点を持ちながらも積極的に交流が生まれる人気の授業です。
* 2019年度は担当教員2名の研究休暇があったため、授業は行いませんでした。*

- ▶12/1~3 ●研究調査 (参加:1名)
▶12/26~28 ●Human Ecology: Rivers 2020年度授業準備 (参加:3名)
▶2/13~20 ●Human Ecology: Rivers 2020年度授業準備 (参加:1名)

[HP] <https://www.kasasustainability.org/human-ecology>

北海道阿寒高等学校

釧路湿原国立公園等身近な自然環境への理解を深め、人間と自然の関わりを考える事で今後自然と共存して生きる素地をつくることを目的に地域巡検を実施しています。今年度は、北斗遺跡で釧路湿原の歴史、温根内ビジターで釧路湿原の自然、幌呂地区再生事業地で農地を再び湿原に戻す取り組みについて学びました。



- ▶07/14 ●地域巡検 (参加:1年生23名、2年生16名 合計39名)
[HP] <http://www.akan.hokkaido-c.ed.jp/>

酪農学園大学 環境地球科学研究室

釧路湿原における物質循環についての研究を行っています。

活動紹介

広報にご協力いただいた施設

ワンダグリンダ・プロジェクトの広報活動にご協力いただいた施設をご紹介します

釧路市民活動センターわっと

釧路町温水プール

ご協力いただいた内容

釧路町総合体育館

釧路町地産地消センター ロ・バザール

■印刷物の掲示

ワンダグリンダ・ニュース
イベントポスター
ワンダグリンダ募集ポスター
チラシなど

細岡ビクターズラウンジ

達古武オートキャンプ場

■印刷物の配架・陳列

ワンダグリンダ募集チラシ
イベントチラシなど

豊文堂書店北大通店

標茶町博物館



釧路湿原自然再生協議会の取り組み

釧路自然再生協議会は、釧路湿原の自然再生を進めるために自然再生推進法に基づき、2003年11月に設立されました。再生事業の実施者や専門家、釧路川流域の市町村、NPOや市民団体、釧路川流域に暮らす住民の方々が参加しています。運営には全体会議のほか、大きく7つに分類された取り組みごとに小委員会が設置され、具体的な取り組みの協議が進められています。

協議会および小委員会の開催



第8回地域づくり小委員会

会議は公開で開催されており、傍聴席にて誰でもご参加頂けます。

6/25	第33回 再生普及小委員会
7/26	第8回地域づくり小委員会
10/31	第19回 森林再生小委員会
11/12	第24回 土砂流入小委員会
12/4	第21回 湿原再生小委員会
12/13	第23回 旧川復元小委員会
12/20	第34回 再生普及小委員会
1/17	第22回 湿原再生小委員会
2/14	第18回 水循環小委員会
2/18	第9回 地域づくり小委員会

情報発信

会議の内容をニュースレター、ホームページで情報発信しています。



[HP] <https://www.hkd.mlitt.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>



ニュースレター

再生事業地見学会の開催

地域・市民のみなさんを対象に、自然再生事業について広く知って頂く事を目的とした現地見学会を、各小委員会主催で開催しました。

7/25 ●幌呂地区湿原再生現地見学会(参加:27名) 湿原再生小委員会主催(事務局:釧路開発建設部治水課)



「ヨシ」の移植体験!

未利用地を湿原に再生している「幌呂地区湿原再生」事業箇所の見学。湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、ハンノキを衰退させるための試験としてハンノキ環状剥皮(巻き枯らし)の体験を行いました。

8/27 ●久著呂川自然再生の見学ツアー(参加:10名) 土砂流入小委員会事務局主催(事務局:釧路建設管理部治水課)



魚類のモニタリングを体験!

鶴居村と標茶町の境界を流れる久著呂川で、上流から湿原流入部までの約26kmをバスで移動しながら自然再生の取組み(久著呂川の土砂対策)を学びました。

9/14 ●企業との協働による広葉樹の森林づくり(参加:38名) 森林再生小委員会主催(事務局:釧路湿原森林ふれあい推進センター)



200本を植樹!

笹地にハルニレ・ヤチダモ・ミズナラ200本の植樹と併せて、植栽木をエゾユキウサギの食害から保護するため、保護管(ツリーシェルター)で被覆しました。

8/25 ●カヌーdeヒシ刈り! in達古武湖(参加:21名) 湿原再生小委員会主催(事務局:環境省釧路自然環境事務所)



「ヒシ刈り」体験!

カヌーに乗って自然再生事業によって再生した水草の観察や、実際に自然再生を体験する「ヒシ刈り」、自然の中を散策するネイチャービンゴを行いながら達古武湖の自然再生事業について学び・体感してもらうプログラムを実施しました。

9/21 ●茅沼地区旧川復元現地見学会(参加:29名) 旧川復元小委員会主催(事務局:釧路開発建設部治水課)



蛇行河川を体感!

旧川復元区間や普段は一般の方が入れない直線河道埋め戻し区間を見て、湿原植生の回復状況や蛇行河川の回復状況から、旧川復元の効果について理解を深めて頂きました。

11/20 ●水循環現地見学会(参加:29名) 水循環小委員会主催(事務局:釧路開発建設部治水課)



水・物質循環のメカニズムを解説!

達古武での湧水地の見学、茅沼地区旧川復元箇所では蛇行による土砂流入量減少効果の解説、地下水や土壌環境に配慮している農業生産法人施設の見学及び久著呂川土砂調整地での土砂流入対策効果の見学を行いました。

再生普及行動計画オフィスの活動

再生普及行動計画オフィスは、環境省釧路自然環境事務所が主体となって、以下の活動を行っています。

- ▶再生普及推進のための連携チーム、湿原学習のための学校支援ワーキンググループの運営
- ▶ワンダグリンドプロジェクト運営事務局としての活動
- ▶釧路湿原の環境教育・環境保全についての情報収集・提供、各種相談対応
- ▶釧路湿原に関する学習支援
- ▶釧路湿原自然再生事業紹介パネルの貸出、イベントへの出展等
- ▶WEB サイトやメールニュースによる取り組みの情報発信



会合の開催



釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会に設置された「再生普及のための連携チーム」および「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の2つの会合を通して、市民のみなさんが釧路湿原に関心を持ってさまざまな取組みに参加いただけるよう、さらに学校での湿原学習が活発に行われていくように議論を行っています。

第9回再生普及推進のための連携チーム会合

5月23日	第9回再生普及推進のための連携チーム
8月1日	第9回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ
11月22日	第10回再生普及推進のための連携チーム
1月7日	第10回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

湿原を体感する学び場づくり

本冊子で紹介しているみなさんや再生普及小委員会メンバーを対象に「釧路湿原特別体験ツアー」(通称:フィールドワークショップ)を夏と冬に開催し、普段あまり知ることのできない「とっておきの釧路湿原」へご案内しています。



日頃、湿原の再生・保全につながる様々な活動に取り組んでいる参加者のみなさんに、情報交換など交流を深めていただく場にもなっています。



釧路湿原野生生物保護センター

フィールドワークの振り返り

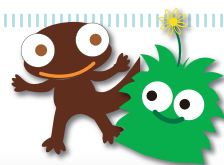
普段は入る事の出来ない湿原の奥地を訪ね、そこで見て感じた湿原の魅力や新たな学びを日頃の活動に生かしていただく事を目的に実施しています。

9月5日	第23回フィールドワークショップ (川を渡ってハンノキ林からミズゴケ湿原への旅)
2月6日	第24回フィールドワークショップ (冬の太島川を訪ねて〜ハンノキ林の未来を推理しよう!〜)



取組みの情報発信

WEB サイトやニュースレターの配信、イベントへの出展やパネル展などを通して自然再生事業の取り組みや学校支援の取り組み、ワンダグリンドにご参加頂いているみなさんの取り組みについてご紹介しています。



●再生普及行動計画オフィスのWEB サイト



みんなで進める! 釧路湿原の自然再生
kushiro-wanda.com

ワンダグリンドの活動状況・釧路湿原で行われる行事情報等を掲載しています

きづく わかる まるる 釧路湿原
kushiro-ee.jp

学習資料などを提供しています。授業作りのお手伝いもしています。



●イベントへの出展・パネル展の開催

くしろエコ・フェア 2019

オオワシって
大きいね!



釧路生涯学習フェスティバル
まなトピア 2019



釧路湿原自然再生事業を紹介するパネル「釧路湿原自然再生への取り組み～未来の子供たちのために」が新しくなりました。

パネルは貸し出しもしています。ぜひ活用ください。

シルバーシティ
ときわ台ヒルズパネル展

5月30日～6月16日	『釧路湿原自然再生への取り組み』パネル展 会場: 釧路市中央図書館
6月29日	くしろエコ・フェア2019 会場: イオンモール釧路昭和
8月24日～11月24日	ビジターセンター展示「アイヌ民族と植物」 会場: 温根内ビジターセンター
11月9日～11月10日	釧路生涯学習フェスティバル「まなトピア2019」 会場: 釧路市生涯学習センターまなぼと
12月1日～1月15日	現地見学会の紹介展示「こんな取り組みで知ですか?」 会場: 温根内ビジターセンター、塘湖エコミュージアムセンター
2月1日～2月27日	釧路湿原自然再生事業紹介パネル展 会場: シルバーシティときわ台ヒルズ

●メールニュース

『ワンダグリンド☆ニュース』



釧路湿原に関するイベント、セミナー等の各種情報を毎月お届けしています。配信を希望される方はオフィス（連絡先は裏面）までご連絡ください。

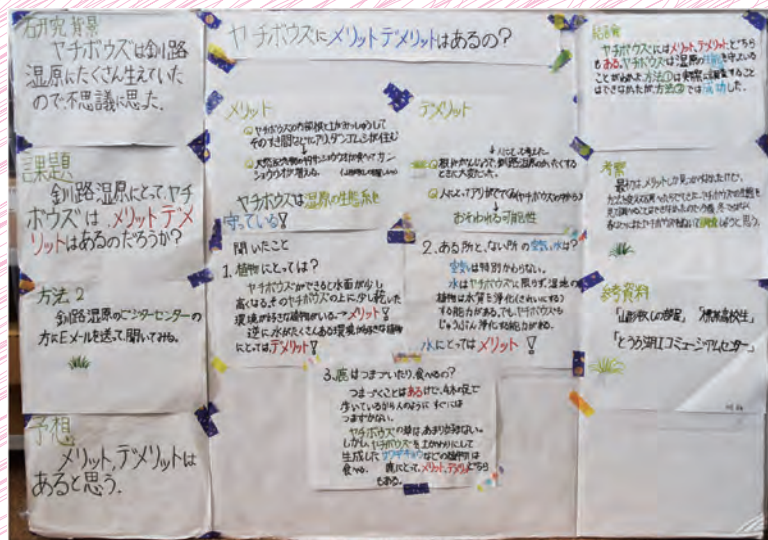
メールニュースには紙版を添付してお届けします。掲示頂ける会社や施設などを募集しています。

▶ 釧路湿原サイエンスフェアの開催

子どもたちの成果を地域の方に知っていただく機会として、子どもたちが作成した研究発表ボードの一部をお借りし、様々な方に協力いただきながら、校区内の施設、ビジターセンターなどで展示を行いました。先生のお話では、学外での展示は、学習発表会での専門家や地域の方への発表とともに、子どもたちにとって学習の励みの一つになったようです。



釧路市役所防災庁舎 1 階



標茶小学校から借用したボードのひとつ。子どもたちが関心を持ったテーマ、とりまとめた内容は十人十色です

連携・協力 (順不同)

北海道教育大学釧路校 境教授、標茶町立標茶小学校、釧路市立中央小学校、釧路町立別保小学校、標茶町教育委員会、釧路湿原国立公園連絡協議会、塘路湖エコミュージアムセンター、標茶町博物館、釧路市こども遊学館

年間を通した学習支援(連携校)

釧路市立中央小学校、釧路町立別保小学校、釧路町立富原小学校、標茶町立標茶小学校、北海道釧路湖陵高等学校(*)
*同校ではパワーポイントを使った中間発表、学習発表での助言を行いました。

問い合わせに応じた学習支援

先生からの問い合わせに応じて、釧路湿原野生生物保護センターでの受け入れ、学校への出前授業、フィールドでの案内などを行いました。



学習支援を行った学校

釧路市立鳥取小学校(3年生、4年生) 釧路市立大楽毛小学校4年生、北海道立阿寒高等学校(1年生、2年生)、宮城県立多賀城高等学校(1年生)、和歌山県立海南高等学校(1年生、2年生)、釧路専門学校(1年生) 立正大学 経済学部(4年生)

「釧路湿原の応援団」



湿原とつながる
皆さんの活動をおしえてください



たとえば…

- 釧路湿原の魅力を人々に伝える活動
- 釧路湿原や流域の環境に関わる学習活動
- 釧路湿原や流域の環境を守る取組み
- こうした活動を人に伝えたり、募金を集めたりして応援する活動

- これから何か始めたいとお考えの方
- 周りで行われている活動をご紹介くださる方
- 本誌で紹介した団体・個人の活動に関心を持たれた方
- 『ワンダグリンダ☆ニュース』を掲示いただける会社、施設、店舗など

大募集!!

このような活動に
取組まれている方

まずは

再生普及行動計画オフィス
までご連絡ください。

連絡先は
裏面を
ご覧ください

応募は随時
受け付けています。



■お問い合わせ先■

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

〒084-0922 釧路市北斗2-2101
環境省釧路湿原野生生物保護センター内

 **0154-56-4646**

FAX.0154-56-2267

E-mail:wanda@heco-spc.or.jp

ワンダグリンダ

Q 検索 

<https://www.kushiro-wanda.com>

■発行■

釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会

2020年7月